

就農にあたっての心構え



農業は、豊かな自然の中で生命を育む仕事であり、喜びいっぱい、魅力いっぱいの職業です。しかしながら、農業を始めるにあたっては、次のことを事前に考えましょう。

1 農業とは、自然相手の仕事です。

自然恵みの中で育てる農畜産物は、工業製品と違って、その年々の天候による作柄の良し悪しや、鳥獣、病害虫による被害の発生、豊作不作による販売価格の変動など、自ら制御できないことが多々あります。

2 農業を始めることは、事業を起こすこと(起業)です。

農業を新たに始めるということは、経営者になるということです。どんな事業であっても起業するためには、経営ノウハウや初期投資が必要ですが、農業も同じです。栽培技術、経営管理のノウハウが必要ですし、設備投資、資材購入などの初期投資も必要です。

3 農村での生活は地域密着です。

農業生産を行うためには、地域の共有資産である水路や農道などを利用する必要がありますし、地域ぐるみでの取組も多々あります。農村で農業を営むためには、地域密着で、地域住民のみなさんと相互協力することが必要不可欠です。

4 将来の理想に向けた目標を定めましょう。

農業を職業として農村で生活するにあたって、どのような理想をもっていますか？ 将来を見据えて、自分がどのような生活をしたいのか、ライフプランを考えた上で、理想に向けた経営目標、生活目標を設定しましょう。

5 農業で「夢」をかなえましょう。

「夢」をかなえるためには、将来の理想に向けた目標を達成するための明確な「計画」と、それを実現するための「行動」が必要です。そのためには、強い意欲と情熱をもつとともに、たゆまぬ努力が必要となります。

